

ジンシャリ

盆美ニュース JINSHARI



さいたま市

大宮盆栽美術館 vol.44 2023.1



「ジンシャリ」とは？

歳月を経た松柏盆栽は、幹や枝の一部が枯れて、そのままの形を残すことがあります。枝は「ジン(神)」、幹の部分は「シャリ(舍利)」と呼ばれる、盆栽の見どころのひとつです。ニュースレター「ジンシャリ」では、大宮盆栽美術館の見どころを紹介していきます。



収蔵品紹介 五葉松 (A-130)

弧を描くような独特の形状を持つ石に、静かに根を下ろした五葉松。本作は、大宮盆栽村の清香園4代目山田登美男氏作の石付き盆栽。揖斐川竜眼石(岐阜県揖斐川流域産)特有の凹凸(おうとつ)のある荒々しい表情に魅了され、およそ50年前に蝦夷松を植え付け、その後、2010年頃に主木を五葉松に植え替え、長寿梅、山もみじ等を寄せ植えにして、現在の姿に至る。静と動の調和した空間が生まれている。

推定樹齢:50年



展覧会紹介

■ 企画展「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」 令和4年12月10日(土)～令和5年1月18日(水)

本展は、子どもたちへの盆栽文化の普及を目的に、盆栽とさいたま市との繋がり、地域や暮らしの中に根づく盆栽の魅力や盆栽の国際化などを紹介するパネル展示です。

また、盆栽職人が使用する道具類の展示も行います。盆栽ならではの道具も多数あり、普段は余り見る事ができないプロの盆栽職人による舞台裏と、その奥深さを紹介します。

■ 季節の展示 盆栽展<四季> 令和5年1月4日(水)～3月29日(水)

冬季から春にかけての季節感あふれる盆栽コレクションを紹介します。

見どころの1つ目は、落葉して枝が露わになった雑木盆栽の姿「寒樹」。葉が茂っている時には見られなかった1つ1つの枝を見ることができます。丁寧に剪定された枝は細やかに分かれ、盆栽職人の技が光ります。



寒樹 (A-077 山もみじ)



芽吹き (A-122 いわしで)

2つ目は、寒い冬を堪え、新たな生命の息吹きを感じさせる「芽吹き」。松柏盆栽と雑木盆栽のいずれも、春先に瑞々しい淡い色の芽が生えます。ほんの数日しか見られない独特の葉の色が、春の訪れを知らせてくれます。

3つ目は、季節を彩ってくれる花。寒さの中にも凛とした姿の椿に、春間近と知らせる芳しい香りの梅、目にも楽しい桜など、それぞれの時期に咲く花を楽しめます。

近隣の盆栽園からも、その時季に見どころを迎えた盆栽を借用し、展示を行います。日々変化する盆栽の表情を、お見逃しなく。



季節を彩る花 (A-125 寒椿)

展覧会情報

〈コレクションギャラリー〉

■【季節の展示】 盆栽展 〈四季〉

1月 緑を寿ぐ 1/4(水) ▶ 2/1(水)

2月 凛と咲く 2/3(金) ▶ 3/1(水)

3月 花告げる春 3/3(金) ▶ 3/29(水)

〈企画展示室〉

■ 企画展 「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」

令和4年
12/10(土) ▶ 1/18(水)

■【歴史と文化】 盆栽クロニクル—年代記— 大宮盆栽村 100周年資料調査特集展示

2/4(土) ▶ 4/5(水)



着任しました！

10月1日付けで、さいたま市岩槻人形博物館から異動になり、学芸員として当館に着任いたしました。これまで主題としてきた人形に比べ、命ある盆栽は、季節や時間の経過とともに刻々と姿が移ろっていくところに、驚きと魅力を感じています。

さて、新任早々ですが、誌面の一隅をいただきましたので、今のわたくしの「推し盆栽」に触れてみたいと思います。「山もみじ 銘 武蔵ヶ丘」。言わずと知れた当館コレクションの名品です。

眺めていると、典雅な大和絵の登場人物になった気もいたします。深山幽谷を想起させる盆栽が多いなか、齢を経た盤根から立ち上がる、繊細な幹や枝葉はどこか都ぶりでもあり、心惹かれました。

(学芸員 菅原 千華)



A-073 山もみじ 「武蔵ヶ丘」



大宮盆栽村 100 周年に向けて

九霞園所蔵資料は、特別展・企画展の準備においてその都度提供を受けていましたが、その全体像は見ていませんでした。令和3年12月10日から開始した九霞園における資料調査では、全体像の把握と仮目録の作成を目的に実施し、令和4年8月16日にひと通り終了しました。

既に昨年度、一部の資料を【歴史と文化】「盆栽クロニクルー年代記」展にて公開しましたが、更なる資料が発見されました。九霞園初代・村田久造氏(1902～1991)の日記や備忘録、盆栽に関する講演の原稿、盆栽村に関する資料などです。日記や備忘録には、村田氏が気になった事柄のメモから、交友関係、皇居の盆栽の手入れに関する事柄まで記されており、村田氏のひとりとなりのみならず、九霞園や盆栽村の動向を知ることが出来る貴重なものです。更に、昭和期の多くの写真や8mmフィルムが残されており、蝦夷松採取の様子や九霞園の盆栽棚、盆栽村、盆栽関係者との交流の様子を確認できました。

令和5年2月4日から4月5日まで開催する【歴史と文化】「盆栽クロニクルー年代記」展において、大宮盆栽村100周年に向けての資料調査・研究の成果の一部公開を予定しています。新しく発見された盆栽村や盆栽園についての資料を紹介する予定です。お立ち寄りいただければ幸いです。

また、今後も大宮盆栽村100周年に向けて、九霞園以外の盆栽園への調査や、往時の盆栽村を知る人への調査も行い、本誌や展示等でその成果を公開していく予定です。続報をお待ちください。



九霞園風景写真(九霞園所蔵)

世界から見た大宮盆栽

～国際的な盆栽ウェブサイト「盆栽エンパイア」のオスカー・ヨンカー氏にインタビューしました～

盆栽エンパイア(Bonsai Empire)は、「盆栽を通して世界とつながる」ことを目的に、オスカー・ヨンカー(Oscar Jonker)氏が15歳の時にオランダで創設したウェブ上の盆栽のコミュニティサイトです。多岐にわたる盆栽の普及活動を行い、英語を含め13の言語で盆栽の魅力を世界に発信しています。

令和4年9月に来日したヨンカー氏に、大宮盆栽美術館についてお聞きました。

■世界の盆栽事情に精通しているヨンカーさんから見た大宮盆栽美術館の見どころを教えてください。

今では世界中に盆栽の愛好者がおり、その地域ごとの特徴があるのが盆栽の面白いところです。大宮盆栽美術館はレベルの高い盆栽を一度にたくさん見られることと、いつ来ても質の高い展示の素晴らしさを感じるところが魅力的です。

■当館の近隣には大宮盆栽村がありますが、そうした盆栽コミュニティは海外にもあるのでしょうか？

海外でこのような盆栽コミュニティというのは聞いたことがありません。大宮盆栽村があり、大宮盆栽美術館があるというのがこの地域の特徴で、とても印象深いです。海外から来る場合、大宮駅や東京駅から近く、交通の便も良いので来やすいです。大宮盆栽美術館とあわせていろんな盆栽園を巡ると、その園の特徴をも知ることができます。海外から来て、一度にたくさんの盆栽を見られることが本当に嬉しいです。

さいたま市には2017年に開催した「世界盆栽大会inさいたま」で訪日しましたが、これまでに自分が行ったことのある世界盆栽大会の中でも最高の大会でした。世界中の素晴らしい盆栽、いろいろな種類の盆栽を一度にたくさん見られてとても楽しかったです。盆栽好きの自分にとって、さいたま市は盆栽を見に来る大切な場所となっています。



盆栽エンパイア オスカー・ヨンカー氏

1 January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
12月29日～1月3日 年末年始休館						
8	9	10	11	12	13	14
ST						
15	16	17	18	19	20	21
子ども WS						ST
22	23	24	25	26	27	28
						実技
29	30	31				

2 February

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
ST						
12	13	14	15	16	17	18
						ST
19	20	21	22	23	24	25
子ども WS						実技
26	27	28				

3 March

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
ST						
12	13	14	15	16	17	18
					植替	ST 植替
19	20	21	22	23	24	25
子ども WS						実技
26	27	28	29	30	31	

展覧会

〈コレクションギャラリー〉

■【季節の展示】 盆栽展 〈四季〉

1月 緑を寿ぐ 1/4(水) ▶ 2/1(水)

2月 凜と咲く 2/3(金) ▶ 3/1(水)

3月 花告げる春 3/3(金) ▶ 3/29(水)

定例
イベント

- ST スライドトーク 13:30～
- 子ども 子ども向けワークショップ 10:00～11:30 ※
- WS 盆栽ワークショップ 14:00～15:30 ※
- 実技 盆栽実技 13:30～14:30

イベント

植替 盆栽植え替えデー 9:30～11:30 / 13:30～15:30 ※

※は事前申込み制。申込方法など詳細は当館ホームページをご覧ください。

開館時間 9:00～16:30(3月～10月) / 9:00～16:00(11月～2月) ※入館は30分前まで

休館日 木曜日 ※祝日の場合は開館、年末年始、臨時休館日あり

観覧料 一般 310円(200円)

高大生・65歳以上 150円(100円)

小中学生 100円(50円)

*障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

* () 内は20名以上の団体料金

年間パスポート好評発売中!

一般 1,040円 / 高大生・65歳以上 520円 / 小中生 310円

発行 さいたま市大宮盆栽美術館

〈企画展示室〉

■ 企画展

「子どもたちに伝えたい
さいたまの盆栽」

令和4年

12/10(土) ▶ 1/18(水)

■ 【歴史と文化】

盆栽クロニクル—年代記—
特別展特集展示

2/4(土) ▶ 4/5(水)

さいたま市 大宮盆栽美術館

電車利用 JR宇都宮線「土呂駅」下車 東口より徒歩5分
東武アーバンパークライン(野田線)
「大宮公園駅」下車 徒歩10分

車利用 首都高速埼玉新都心線「新都心西」出口より約6km
東北自動車道「岩槻」出口より約9km
駐車場: 一般車両39台(2時間まで無料)
大型車3台(880円)、障害者用2台(無料)

〒331-0804

埼玉県さいたま市北区土呂町2-24-3

TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323

https://www.bonsai-art-museum.jp



[ホームページ]



さいたま市

大宮盆栽美術館